

(参考1)

H I Vとエイズの基礎知識

◆ エイズとは？

- ① エイズ (AIDS = Acquired Immunodeficiency Syndrome) は、日本語にすると「後天性免疫不全症候群」といい、HIV というウイルスに感染して起こる病気です。

HIV に感染してもすぐにエイズを発症するわけではなく、また、風邪に似た症状が出る場合がありますが、HIV 検査を受けなければ感染しているかどうかは分かりません。

病気とたたかう抵抗力 (免疫) が低下して発症するまで数年と、ある一定期間自覚症状のない時期が続くことが特徴です。

- ② HIV の感染経路は限られているので、感染を予防することができます。

感染経路 ○ 性行為 (異性間・同性間) による感染
 ○ 血液を介しての感染 (注射器具の共用など)
 ○ 母親から赤ちゃんへの母子感染

*ポイント (伝えたいメッセージ)

- ・ 予防することで HIV 感染を防げること。
- ・ 予防のためには、感染経路についてきちんと理解すること。予防のためにはどのような行動が大切かを理解すること。
- ・ ひとごとではなく、自分のこととしてこの病気を考えることが大切。

◆ 世界と日本のエイズ

- ① 国連合同エイズ計画 (UNAIDS) の発表によると、2024年末現在で約4080万人の HIV 感染者とエイズ患者が世界中でこの病気とたたかっています。

- ② 日本における2025年の HIV 感染者及びエイズ患者の新規報告数 (速報値) は、890 件であり、前年に比べ減少したものの、今後の状況を注視していく必要があります。

*ポイント (伝えたいメッセージ)

- ・ HIV 感染が身近な問題であること (世界でも日本でも)。

◆ 検査と治療について

- ① 検査：HIV 検査は、全国の保健所等で「無料・匿名（名前を言わずに）」で受けることができます。
- ② 治療：いまのところ、からだの中の HIV を完全にとりのぞく治療法はありません。ただし、医療の進歩によって、発症する前に多剤併用療法を始め、きちんと服用すれば、発症を遅らせ、他の慢性疾患と同じように入院することなく定期的に病院に通うことで、コントロールが可能になっています。つまり、早期発見による早期治療が重要です。

*ポイント（伝えたいメッセージ）

- ・「HIV 検査は、全国の保健所等で無料・匿名で受けることができる」のに、その情報を知らない人が多い。みんなに知ってもらい、もっと活用してほしい。
- ・検査を受けることは、自分のためにも、相手のためにも大切なこと。自分のからだの状態を知ることは、自分をケアしていること。
- ・感染しても、早期に分かれれば、適切な治療と継続により、仕事や勉強など、感染する前と変わらない生活を送ることができる。また、さまざまな専門家や NGO が支えてくれ、一緒に HIV やエイズと向き合ってくれる。一人ではない。
- ・「エイズは怖い」という、誤った、過去のイメージから HIV 感染者への偏見・差別はまだ根強く残っている。正しい知識を身につける必要がある。HIV 感染者・エイズ患者も周囲からの偏見・差別が怖く、なかなかまわりに本当のことを告げることができない。一人ひとりが HIV 感染症とエイズを正しく理解し、この課題と向き合うことによって、偏見・差別が解消され、みんなで話し合える場をつくることができる。

◆ 世界エイズデーとレッドリボンについて

- ① 世界エイズデー：世界的レベルでのエイズまん延防止とエイズ患者・HIV 感染者に対する差別・偏見の解消を図ることを目的として、12 月 1 日が“World AIDS Day”（世界エイズデー）と定められました。この日を中心に世界各地でエイズ予防・支援のためのイベントなどが行われています。
- ② レッドリボン：“レッドリボン（赤いリボン）”は、エイズに関する理解と支援のシンボルマークです。レッドリボンは、あなたがエイズに関して偏見をもっていない、エイズと共に生きる人々を差別しないというメッセージです。
このレッドリボンの意味を知り、レッドリボンを身につけることによって、エイズをみんなで考えることが大切です。

(参考2)

エイズ広報を行う際の留意事項（不適切な表現等）

患者・感染者を傷つけたり、差別、偏見を助長するような表現は避ける

◇エイズ撲滅、エイズ抑圧、エイズ根絶

→ 患者・感染者が傷つく表現なので避ける。「HIV 感染症／エイズのまん延の防止」「患者・感染者に対する差別と偏見の解消」などの表現が望ましい。

◇エイズをたたきのめす、やっつける

→ 患者・感染者を排除しようとするイメージを与える表現なので避ける。

◇エイズ汚染、エイズ禍、ウイルスをまき散らす

→ 患者・感染者が社会を汚しているというイメージを与える表現なので避ける。

◇理性ある行動をとるべき、節度ある行動をとるべき

→ 患者・感染者はだらしない人というイメージを与える表現なので避ける。

◇ハイリスクの人、エイズ多発国、エイズ先進国

→ 危険なのは、「人」ではなくハイリスクな「行動」。また、HIV 感染の流行について「多発国」「先進国」という表現は不適切なので避ける。

◇（感染すると／発病すれば）必ず（100%）死ぬ

→ 近年、治療の進歩により、HIV 感染症が早期に診断されれば、服薬を続けることでエイズ発症を抑えることが可能である。また、エイズを発症したとしても、適切な治療を受けることで「必ず（100%）死ぬ」とは限らず、適切な表現ではないため避ける。

◇エイズの恐怖・魔の手、忍び寄るエイズ

→ いたずらに恐怖心をあおる表現は避ける。

◇ホモ（ホモセクシュアル）

→ 蔑称として使われることが多い。「MSM*」「男性同性愛者」「ゲイ」などの表現が望ましい。

*MSM (Men who have sex with men) : 男性で同性間性的接触を行う者（バイセクシュアルも含まれる。）

◇レズ

→ ホモとセットで蔑称として使われている。「レズビアン」「女性同性愛者」などの表現が望ましい。

◇多数との無防備なセックス

→ 相手が多数でなければ大丈夫という誤解を与えるため避ける。

◇コンドームを使うのは男の役割

→ 女性用コンドームの使用もありうること、また、同性間での性的接触もあることなどから、適切な表現ではないため避ける。

